

授業観察を通して

5月24日(土)に4時間目の引き渡し訓練と合わせて、学校公開を行いました。天候も暑くもなく寒くもなく、とても有難い状況の中で行うことができました。また、多くの保護者の方や地域の方、他地区の方もご来校いただいたようで、子供たちも張り切っていた様子がありましたが、全般的に落ち着いた授業風景だったと思います。学校運営協議会の皆様からも、同じような感想等をいただくことができました。多くの皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

さて、学校では、年間を通して2回以上、校長と副校長が授業観察を行い、先生方の授業への取組や子供たちの学習の様子を見ています。私たち教員の本来の職務である授業においては、授業力を高めることが求められると同時に、児童にとって学校を楽しく、元気に過ごすことができるようにしていくためには、授業における学習活動を一番大切にしていかなければならないところです。



授業力を高めるためには、日々の自身の学びが必要となるだけでなく、学年担任同士、教員同士、時には、校長や副校長等の多くの先生方からの指導や助言、学びの共有など、多くの機会を通して、授業力を高める努力をします。校内研究という教員同士の学びを計画的に行うことも行いながら、各自の授業における課題(例えば、先生の声の大きさ、黒板への記述【教員間では^{ばんしょ}板書と言う】、子供たちの状況に応じた指導、ワークシートの活用、タブレット等のICTの活用、子供たちへの問題提起【教員間では^{はつもん}発問と言う】など、まだまだ、ありますが。。)に対して、個別に話したり、グループで学び合ったりと、様々に工夫をして授業力を高めるようにしています。学校公開も、その1つです。保護者や地域の皆様のアンケートからも学ぶことができます。

自分たちの授業力を高め、子供たちの学びを保証しながら、学校が楽しく、安全で安心できる場所として在り続けるよう頑張ります。励ましや応援の程、よろしく願いいたします。

六小サポーター説明会から

5月24日(土)の午後13時30分から、六小サポーター説明会を行いました。一昨年から、連続して説明会を行い、既にご登録いただいている方もあり、ご出席いただいた人数は、例年より少ない人数となりましたが、逆に懇談的にお話ができ、詳しく説明ができたところもありました。

六小サポーターは、コミュニティスクールにおいては、地域学校協働活動という名称で呼ばれますが、これまで通りに六小サポーターとして、保護者や地域の方には、お知らせしますので、多くの方にご登録いただくとともにボランティア活動にご協力の程、お願いいたします。

また、中心になって推進いただく方として、小野 麻衣さんをお願いをしております。地域学校協働活動推進員として、取組の中心者をお願いしていますので、コミュニティスクールの一翼を担う取組を、多くの方のご協力とご参加の下に進めてまいります。よろしくをお願いいたします。

【校長のつぶやき】 教員となり、今年度で35年目を迎えています。担任としては、

1年生を2回、2年生を1回、3年生を4回、4年生を6回、5年生を1回、6年生を1回、算数指導担当を4回、その後は、副校長を6年、校長となって7年、経験しています。今年度で8年目の校長となりました。

現在の学校には、職として、教諭・主任教諭・主幹教諭（指導教諭）・副校長・校長がありますが、私が教員になった頃には、教諭・教頭・校長の3つしかありませんでした。新しい職ができたのは、2校目の時に「主幹」という職ができ、私が「主幹」の仕事をする段階で、「主幹教諭」と名称が改められ、その後に、副校長や主任教諭の職ができ、今に至っています。私の世代の教員は、学校現場の様々な教育改革の中で教員生活をしてきましたので、本当に多くの経験を積ませていただいたように思います。

今の先生方は、私が学んだこと以上に、教員になる前から教員としての資質や能力を高めてきている方がたくさんいます。私の時から今の時代のように教員としての学びがあったならと、時々、うらやましく思ったこともあります。

世の中においては、私たち教育現場の教員という仕事に対して、様々な話やニュースがありますが、多くの先生方においては、教員という仕事に魅力を感じ、使命感や充実感を感じながら、子供たちとのよりよい学校生活に努めているところです。

「ローマは一日にして成らず」の言葉にあるように、私たち小学校の教員は、6年間という期間を見通し、大切にしながら、各学年における発達段階を基本に、各学年での子供たちの成長と充実の学校生活になるよう努めています。これからも保護者の方々や地域の方々と対話を積み重ねて、国立市の中で、これまで以上に第六小



学校の名前が、よりよい学校として話題に挙がっていくよう「チーム六小」として挑戦してまいります。これからも、どうぞ、よろしくをお願いいたします。